

落石危険箇所への取り組み

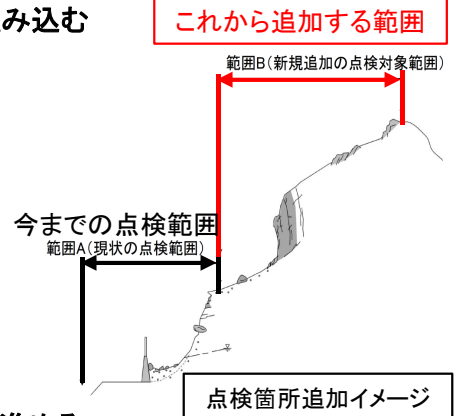
秋 田 県 建 設 部 道 路 課

平成28年9月30日、仙北市田沢湖玉川地内の国道341号で直径1.8mの巨大な石が、スノーシェットの屋根を破壊して道路へ達する落石が発生したことを契機に、これまで防災点検を行ってきた箇所以外の予見が困難な落石等に対する対応方法等を検討し「秋田県落石等道路防災計画」を策定しました。今後は、当計画に従って、点検・管理・対策を効果的かつ確実に推進していきます。

【取り組み1】道路に影響を与える災害要因を抽出し、点検対象へ組み込む

点検箇所以外からの落石が多数発生しており、落石発生箇所や点検法面上部について路線の重要度と道路への影響から点数化し点数の高い区間から調査を実施します。

項 目	評価種別	区分(配点)17点満点		
事前通行規制区間	路線の重要度	非該当(0点)	該当 孤立無し(1点)	該当 孤立有り(2点)
緊急輸送路		非該当(0点)	2次(2点)	1次(3点)
観光道路		非該当(0点)	該当(2点)	
全面通行止めを伴う災害	道路への影響度	無(0点)	片側(2点)	全面(5点)
道路への影響度		無(0点)	小(3点)	大(5点)



【取り組み2】点検方法の標準化により、効果的かつ効率的な点検を進める

点検範囲、点検方法を標準化します。また、点検結果を災害要因の進行具合と不安定性等からランク分け(1から6段階)し、ランクの高い箇所の点検回数を増やします。

点検結果に基づく危険度ランク

	災害要因の不安定性、明瞭さ及び変状特性の多さ			点検方法	
	レベル1	レベル2	レベル3	原則	目視
変状の進行なし	ランク1	ランク2	ランク3	目視不可	双眼鏡
変状の進行あり	ランク4	ランク5	ランク6	双眼鏡不可	ドローン

危険度ランクに応じた点検回数

総合評価	危険度ランク区分	防災カルテ点検の頻度
要対策	ランク6	2回以上/年 (必要に応じて、自動計測)
	ランク5	2回/年(春・秋)
	ランク4	
	ランク3	1回/年(春)
	ランク2	
	ランク1	
カルテ対応	—	1回/2年(春)
対策不要	—	日常道路巡視で対応

【取り組み3】災害記録の集約・蓄積を行う

災害記録を蓄積することは災害の発生位置や地形・地質などの共通点から災害の発生傾向を分析することで災害危険箇所・区域の抽出に役立つと考えています。

【取り組み4】道路パトロール等による日常点検を効果的に進める

週2回実施している道路パトロールを効果的に進めるため、災害種別(落石や土砂崩れなど)ごとに重点巡視期間を定め、災害の前兆現象や変状の進行等に注視していきます。

●3-5月「落石重点巡視期間」 ●6-8月「崩壊・土砂流出重点巡視期間」

【取り組み5】道路利用者からの通報、道路利用者に対する注意喚起を促す情報提供・収集を図る

道路利用者や道路利用頻度の高い事業者からの道路への通報は重要な情報であるため、いち早く情報収集出来るように「道路緊急ダイヤル」の周知やスマートフォンアプリによる通報、危険箇所等の情報提供のため現地に看板の設置や出かける前にHPで確認出来るようなソフト対策を進めています。



情報提供・収集のための周知(チラシ等)※国交省・他県の例



落石注意看板